日本老友新聞

株式会社老友新聞社
発行人・円山　亙
東京都文京区
西片1―15―10
〒113―0024
電話
(03)5689―7090代
FAX
(03)5689―0965
振替口座
00140―9―27199

半世紀の歴史に輝く日本唯一の長寿者新聞

老人クラブに最適の資料

高齢者にもっと笑顔を！

NPO法人「ひとり暮らし高齢者の笑顔をつくる会」の活動

年齢を経ると共に若いときよりも行動がスムーズにいかなくなると感じることは増えてくるものだ。読者の方の中にも、こんなときに誰かの手を借りたいと思う人は多いだろう。そんな〝気持ち〟に応えようとするNPO法人がある。『ひとり暮らし高齢者の笑顔をつくる会』だ。

独居老人の孤独死がきっかけ

『ひとり暮らし高齢者の笑顔をつくる会（以下『笑顔をつくる会』）』は、大阪市浪速区に拠点をおくNPO法人だ。活動を開始したのは約1年半前、設立は昨年の10月になる。活動を始めたきっかけを理事長の野崎ジョン全也（まさや）さんはこう語る。

「私は以前コンサルタントの仕事をしていました。そのとき聞いた話のひとつに、上海で高齢者の孤独死が増えているというものがあったのです。上海は東京や大阪に匹敵する大都市です。上海で起きていることは日本でも起きうること。さらに、私のクライアントさんが入居しているビルの隣のマンションで、立て続けに孤独死がありました。こういったことを何とかしたいと思ったのが笑顔をつくる会設立のきっかけでした」

NPO法人「ひとり暮らし高齢者の笑顔をつくる会」理事長の野崎ジョン全也さん㊧

介護保険適用外を補う

生活で直面する困難・不便サポート

たとえば、介護保険における訪問介護では、ヘルパーは卵を買ってくることはできるが本や電球を買ってくることはできない。窓ガラスの掃除や庭の手入れもできない。しかし、そういった介護保険で補えない部分への手助けを必要としている人は非常に多い。

「笑顔をつくる会は、高齢者の方たちが、介護保険適用外で誰に頼めばいいのかわからないというような部分を低価格でサポートします。行政や民生・福祉委員、病院や介護事業所と連携を取りながら、新しい地域のコミュニティづくりを目指しています」

笑顔をつくる会が提供するのは「生活サポート」「外出サポート」「通院サポート」「入退院サポート」だ。ケアマネージャーなどの紹介で契約を結び、顧客が必要とするサービスを提供する。

「利用者の中には認知症の方も少なくありません。たとえば、大病院に行くと5～6時間待たされることは普通のことです。通院サポートではその間の付き添いはもちろん、医師の診断や治療方針、次回診察日時も一緒にお聞きして、ご家族やケアマネージャーさんにフィードバックします」

また、一般の高齢者の利用者も多いという。

「奥さんにお風呂を沸かしておくように頼まれた男性が、空焚きしてしまい、それがトラウマのようになってしまった。そこで奥さんが入院された際は毎日お風呂を焚きにいきました。独居のお年寄りで、ひとりで電車に乗れないという方を、車にお乗せして一緒に近鉄百貨店に買物にいくことも。近鉄百貨店には昔よく行かれたそうで、本当に喜んで下さいます」

〝生活に楽しさ〟モットー

通院帰りに散歩や外食

笑顔をつくる会がこのようなサポートを提供する上でもっとも大事にしていることがある。それは利用者に楽しいと思っていただくこと。

桜の季節なら、病院に行った帰り道に遠回りになっても満開の桜並木を通ってみたり、おひとり暮らしの方とは一緒に外食したりすることもあるという。

現在の契約者は百十六名だ。野崎さんは、これまでのサポートの中で印象に残っている事例を話してくれた。

「認知症が急速に進行している白血病の治験患者さんがおられるのですが、2か月ほど連絡がなく、心配になって他の通院の際にお聞きしたところ、処方されている薬の効果が出ないということで薬の処方をやめましょうという話になったというのです。白血病であるかぎりは、治療をやめていいはずがありません。治験コーディネーターさんに確認すると、案の定そんなことは言っておらず、むしろ2か月も通院していないので心配していたとのこと。このことがあってから、私たちは命を預かる仕事をしているのだとつくづく感じましたね」

笑顔をつくる会は、現在は大阪市に拠点をおいているが、将来は全国規模で活動していきたいという。このようなサポート活動が広がり、利用者である高齢者に笑顔が増えることを望むばかりだ。

なお、生活サポートの基本料金は平日30分以内六百円、通院サポートは60分以内千二百円、いずれも5分超過する毎に百円ずつ加算される。

さらに細かい料金設定とサポートの内容についてはNPO法人『ひとり暮らし高齢者の笑顔をつくる会』（電話06・6585・7131　受付平日9時～17時）までお問い合わせを。

一番よかった記事はがきで投函を

この号で一番よかった記事を葉書でお寄せください。抽選で数名に記念品を送ります。なお、編集の参考にしたいのでこういう記事をという希望を書いて頂けると幸いです。

編集部

当選者

五月号の「一番良かった記事」の第一位は一面の「年を重ねる楽しみ／心に届く贈り物」でした。第二位は三面の「この世でぶらぶら／老人の原因不明の病気」、第三位は二面の「肩こりの原因と解消法」でした。

◇

すべての葉書から抽選の結果、次の方々に賞品を送ります。

茨城県・森島晟、長野県・加藤千代子、富山県・土田紀代子、静岡県・芝山一枝、岡山県・大森こゆみ

（順不同・敬称略）

年を重ねる楽しみ

連載 52

清川　妙

連休の前半に、連載二本をひしひしと根をつめて書き終え、ホッとして疲れが出たせいか、後半に入ると、なんだかずっと眠くて、ひまさえあればベッドでごろごろしていた。老友新聞の締め切りも連休明けだ。書こうと思うことは

私に似合わず、だってもう九二歳だもの、と、すこし後向きのつぶやきも出てきそうになった。

そんなこんなで、かすかなうつ状態にあった私のところに、一通の封書が届けられた。連休の終わる二日前であ

き』誌のインタビューで、あなたから、すばらしいいろいろのおことばをいただいたことを、いつもなつかしく思い出しています。私は当年百六歳。とても神戸までは行けそうもありません。残念です。

名な声楽家でいらっしゃるから声ももちろんいいし、立ち居振舞いもごく自然だった。

テレビのこの姿がつよく印象に残っていたので、いまから二年前、私は『いきいき』誌に提案し、大阪で在住の百四歳

弾みはじめた。百六歳の嘉納さんは私より十四歳もお姉さんだ。このお姉さんの手紙を見よ。墨痕あざやかに力のあるこの字、情感こ

た。まず、フェリシモの東さんに、嘉納さん宅訪問の時間を考えていただきたいと、長い手紙を書き、連休中だが、会社あてにFAXを送っておいた。

余勢を駆って、ずっと気になっていた英文手紙を、個人レッスンの先生のジェニーあてに書いた。昨今のすさまじいほどの忙しさと、十月末の江戸検テストまで受験勉強に打ちこみたい気持を素直に述べ、十月までレッスンを休ま

翁媼彩歳

ここ数年、京都・奈良への小旅行を繰り返している。これといった計画も立てず、気の向くまま神社仏閣を巡るぶらり旅なのだが、非日常的空間がそうさせるのか、心が安らぎ、また足を運ぶことになる▼もとより、仏教や仏像についての造詣・知識はない。せっかく仏様にお会いするのだから、いろはの「い」の字ぐらいの知識をと、西村公朝著『祈りの造形』に目を通した▼住職であり、仏像彫刻家、東京芸大の教授でもあった西村氏は、仏教の神髄は〈慈悲〉、キリスト教では〈愛〉だという。「〈慈悲〉も〈愛〉も人が人を愛するという点では同じだが、〈愛〉はどんなに深く愛していても相手に裏切られればたちまち憎しみとなって、殺意に変わることもあります。これに対し〈慈悲〉は、親が子に対するような愛情です。たとえ親不孝な子どもでも、その子がかわいいという徹底した親心、これが〈慈悲〉なのです」という▼その慈悲の形とは、例えば、電車のなかで赤ん坊を抱いた母親が、電車が急停車した時、絶対に赤ん坊を落とさない抱き方をしているそうだ。「それは足の踏ん張りとか腰の構え、腕の抱え方にその形が現れている。これが、親が子に対する心の形」だという▼「あくまで指先はスポンジのように柔らかく、指を広げて包み込むような抱き方をしなければいけません。ですから仏像の指先は力を入れた表現であってはいけないのです」▼仏像が表現する、いつくしみの心〈慈〉（厳しい愛情）とあわれみの心〈悲〉（優しい愛情）は、私たちが日々求める生き方でもあるようだ。

「考え
養いた

健康診断で注意を受けたことがないほど健康的で、笑顔がすてきな山岡さん。しかし、そんな山岡さんには気になることがひとつあるといいます。それは、何を取りに来たのか、どこに置いたのかと考え込んでしまうことが増えてきたこと。そして「あれ、何だっけ」は山岡さんの笑顔を曇らせていったのです。

「このままだと私だけではなく、子供たちに悲しい思いをさせてしまうと、心配になりました」

物忘れが進行してしまった近所のおばあちゃんを見ていた山岡さんは、その家族が背負った悲しみを間近で見ていたからです。

「そんな時に核酸という成分が大切であると知ったのです。さっそく『脳内核酸』を取寄せました」

飲み続けていると、気持ちがスッキリと感じ、考えることが得意になってきた山岡さん。『脳内核酸』を飲んでいる安心感は何物にも代え難いといいます。

※年齢・内容ともに2008年3月取材時

東京都在住　山岡好子さん（82歳）

脳内核酸のふるさと三陸釜石は、このたびの震災により甚大な被害を受けましたが、今、多くの支援を受けて

サケとア
ら抽出し
PAやイ

97.5%の

歳のせいにはしたくない!!